

意見検討結果一覧表
（案名：ひとにやさしいまちづくり推進指針（2025～2029）（素案）についての意見募集）

番 号	意 見	類似意見 件数（件）	検討結果（県の考え方）	決定への 反映状況
1	説明するときに、「インターセクショナルリティ」と聞いただけだと分からないので、意味を説明して補足してもらわないと一般の人には伝わらないと思います。		指針内では、「インターセクショナルリティ」の注釈を付けています。指針の周知のため、冊子の作成を予定しておりますが、コラムを掲載するなど言葉の意味が伝わるような工夫をします。	A（全部反映）
2	視覚障がいの人達には点字ブロックは大事だし、安全面を考えると段差があった方が安全ということもありますが、車椅子やベビーカーだと、段差に引っかかって全然進まないなど、ユニバーサルデザインと言っている割には、かみ合わない部分があってちっとも進んでいないと感じています。		ユニバーサルデザイン、バリアフリーについて、ひとにやさしいまちづくりセミナー等を通じて啓発していきたいと考えています。	D（参考）
3	車椅子の友人と飲みに行くときに、普通の居酒屋には入れず、楽しめる場所がありません。皆一緒に遊べるようなところはなかなかないと感じます。		ユニバーサルデザイン、バリアフリーについて、ひとにやさしいまちづくりセミナー等を通じて啓発していきたいと考えています。	D（参考）
4	「アール・ブリュット作品」というのが分からなかったのので、分かるようにしてほしいです。		御意見のとおり、注釈を付けることにより対応します。	A（全部反映）
5	ひとにやさしい駐車場利用証の発行をしていると、障がいのある方などをフォーカスしてしまいましたが、ひとにやさしいまちづくりとして考えたときに、色々な観点が必要になると感じました。	1 件	ひとにやさしいまちづくりの考え方をセミナー等により啓発していきます。	F（その他）

6	外国人の方も住みやすいまちは、宗教や料理の表示をどうすればよいのか、というところもひとつになっています。私たちはこういうことをしていますよということがあるだけでも意味があると思います。		イベントを通じて、宗教などの文化や習慣などの多様性の理解促進や、外国人県民等が暮らしやすい環境づくりに向けた相談体制や情報提供体制等の充実を図っていきます。	D（参考）
7	京都だと、こどもでも、大人でも、外国人でも分かりやすいバス乗り場の工夫がされていて、表示も大きくて大体英語と中国語がセットで表示されていて、ユニバーサルな発想だと思いました。	1 件	知事の諮問機関として設置している「ひとにやさしいまちづくり推進協議会」では、公共交通機関の団体からも構成員として御参加いただいていますので、協議会の場で情報を共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。	C（趣旨同一）
8	耳が聞こえない人に対して、病院とかの予約は電話でしてくださいとか、お電話でお問い合わせくださいと求められることがあります。聞こえなくて対応ができないと FAX はないのかなと思ったりします。電話ができない人にも他の方法を掲示してもらえるとありがたいです。		知事の諮問機関として設置している「ひとにやさしいまちづくり推進協議会」では、医師会からも構成員として御参加いただいていますので、協議会の場で情報を共有するとともに、今後の取組の参考とさせていただきます。	D（参考）
9	前回の指針と大きな違いはないと思いますが、社会の中で踏み込んでいくべき部分は網羅されている印象を受けました。		今後も社会情勢の変化やひとにやさしいまちづくりを取り巻く諸状況を踏まえ、必要に応じて取組の見直しを行っていきます。	F（その他）
10	福祉ボランティア団体として活動しているが、学校関係だとあまり浸透していないと感じます。指針の中で活動している方の事例などを紹介してもらえるといいなと思います。		指針の冊子を作成する際には、写真で取組事例を紹介する予定です。	D（参考）
11	大型のショッピング施設だと車椅子がどこにおいてあるのかが分かりづらいです。普段車椅子を使わないけれども、移動の時に車椅子を利用するという方に向けた案内表示があった方がよいのではないかと思います。		ひとにやさしいまちづくりセミナー等において、事例を紹介するなど、啓発を図っていきます。	D（参考）

12	学校への普及はこれからなのかなと思います。 こどもたちが小さいころから講座とかをやっていくことによって、ユニバーサルデザインやバリアフリーのような考え方が根付いていくといいなと思います。	1 件	学校向けの教材として、普及パンフレットを作成していますので、指針の冊子やパンフレットを活用しながら、こどもたちにひとにやさしいまちづくりの考え方を啓発していきます。	D（参考）
13	盛岡市社会福祉協議会の福祉教育の中では、高齢者、認知症、障がいの体験をしています、自分が講師をする場合には、ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いや心のバリアフリーについて、体験の中に入れていて、かなり有効だと伺っているので、そういった取組をもっと取り入れられればいいなと思います。		各団体で実施している福祉教育やボランティア活動の中で、指針の冊子やパンフレットを活用していただけるよう、周知を図っていきます。	C（趣旨同一）
14	ひとにやさしい駐車場、ヘルプマークは、外見からでは分からない方からの申請も多くありますが、不正利用をしているのではないかとと言われることもあります。この業務に携わっているからこそ分かることがあると思いますので、どういった障がいの方に配布していますという周知だとか、小さい頃からの福祉教育が必要だと思います。		ひとにやさしいまちづくりセミナーや県の広報媒体により周知を図っているところですので引き続き取り組んでいきます。 また、セミナーをこどもが参加しやすい長期休暇期間に実施するなど、工夫しながら取組を進めていきます。	C（趣旨同一）
15	ひとにやさしい駐車場の更なる拡充とありますが、事業者こういった制度があるのでよかったらということでおすすめしますが、沿岸地域にはあまり新規の事業者やお店があまりないことが多く、お金をかけて区画を作ってもらわなければいけないので、補助制度があればいいなと思います。		民間事業者が行う施設等の整備に当たっては、融資制度を設けており、駐車場の整備についても対象となりますので、周知を図っていきます。	C（趣旨同一）

備考1 「類似意見件数」欄については、類似の意見をまとめて公表するときに当該類似の意見の件数の記入に用いるものとし、それ以外のときは削除するものとします。

2 「決定への反映状況」欄には、次に掲げる区分を記載するものとします。

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）

3 意見（類似の意見をまとめたものを含む。）数に応じて、適宜欄を追加して差し支えありません。

4 計画等の案の項目区分に応じて、適宜表を分割して差し支えありません。